

スポットニュース ボーリング調査を行っています (MSB-3号孔)

地層研ニュースの6月号でお知らせしましたように、地表から深さ200m前後までである予想される堆積岩中の地下水の性質や流れなどを調べるため、200m前後のボーリング調査を行っています。このうちMSB-3号孔は、研究所用地内の地下にあると予想される断層の有無を確認するため、70度の角度でボーリングの掘削を行っています。なお、ボーリング作業は、8月30日より開始しています。



写真はMSB-3号孔



MSB-3号孔の地下の予想図

今月の作業内容

【瑞浪超深地層研究所】

- 100～250m程度のボーリング作業(9月25日現在)
- (MSB-1号孔:深さ174mまで掘りました)
- (MSB-3号孔:掘削長135mまで掘りました)
- (MSB-2,4号孔:終了しました)
- 瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事(9月25日現在)
- (沈砂池の工事:全体の98%まで進みました)

【正馬様用地】

- 既存のボーリング孔での水圧の長期観測
- 物理探査を行うための既存ボーリング孔(深さ106m)の追加掘削(400mまで)(9月20日現在で深さ255.4mまで掘りました)
- 正馬様用地内の除草、枝払い、下草刈りの作業

地層研ニュースに関するご質問または、瑞浪超深地層研究所、正馬様用地の見学をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

: 0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課(青木,茅吹,福島)

文化・歴史・自然を楽しむ in 瑞浪

びわとうげ いしだたみ
琵琶峠の石畳(県指定文化財)

所在地:瑞浪市大湫町23番地ほか

琵琶峠は、ふもとから高さ80m、長さ1000mで、難所というほどの峠ではありませんが、中山道的美濃・近江両国のうちでは一番高い峠です。そのため、眺望には優れ、往時から諸書にも書かれたほどの名所の一つです。

この琵琶峠は石畳の道を挟んで緑の木々に囲まれ、鳥やセミの声が聞こえる穏やかな所です。頂上には「住み馴れし、都路出でて、けふいくひ、いそぐともつらき、東路へのたび」と書かれた江戸末期の皇女和宮の歌碑が建っています。また、琵琶峠の約500mの石畳は日本最長の石畳といわれています。



琵琶峠の頂上の様子



琵琶峠の石畳の様子

用語あれこれ

げんぶがん
【玄武岩って何?】

玄武岩とは、地表あるいは地下の浅い所でマグマが急に冷えることによってできた火山岩の一種です。マグマから結晶があまりできることなく固まったものです。有色のマグネシウムや鉄を多く含みケイ酸は50%程度で黒い色をしています。

お知らせ

下記のテレビ番組において「地面の下には何があるの?」を題材とした番組が放送されます。この番組は東濃鉾山でも撮影されました。お時間のある方は是非ご覧下さい。

番組 「科学大好き土よう塾」
日時 10月5日(土)
午前9:30～10:30
NHK教育テレビ放送

来月の作業予定

【瑞浪超深地層研究所】

- 100～250m程度のボーリング作業
- (MSB-1,3号孔:継続)(MSB-2,4号孔:終了しました)
- 瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事
- (沈砂池の工事:終了予定)(第二期造成工事:開始予定)

【正馬様用地】

- 既存のボーリング孔での水圧の長期観測
- 物理探査を行うための既存ボーリング孔の追加掘削(深さ106m 400m)
- 正馬様用地内の除草、枝払い、下草刈りの作業